

---

## 短編 9

三木拓矢

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

短編9

### 【Nコード】

N9580Q

### 【作者名】

三木拓矢

### 【あらすじ】

諸君男とは何か！

男とは阿呆であるべきである！

(前書き)

森見登美彦風味な作品です

諸君に問いたい！

男の意味何であるか！

イカしたカツコ良さか？

女の子を守る優しさか？

勉学を得意とする頭脳か？

答えは否！

だんじて否！

男とは阿呆であるべきものである。

阿呆でない男は腐れ外道である。

腐れ外道でない男は男とは呼ばない。

ただのかっこつけの根性なしにちがいない。

近頃の男は男としての本質を忘れ、わけの分からない愛だの恋だのに体と脳をフル活用させている。

実に哀れである。

阿呆と呼ぶにさえ値しない。

このままでは日本の衰弱も近い。

もしかしたらすでに衰弱しているのかもしれない。

恐るべき問題である。

地球温暖化がどうか言う前に自分達の住んでいる国をどうにかしろ。

どうして皆、私のように日本男児に生きれないのか。

私のような昔ながらの硬派な男は今の日本には存在しないのである  
うか。

恋を捨てルックスを捨て勉学の頭脳を捨てる。

ああ我ながら日本男児の目標のような生き様である。

女性諸君ぜひ私のことを讃えていただきたい。

なんなら惚れてくれてもいい。

私だって女性からの好意を無碍にするような男ではない。

しかし、そんな私だってたまにふと思うところがある。

ああ、私の目の前に素敵な黒髪の乙女が表れてはくれないだろうか  
……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9580q/>

---

短編 9

2011年10月10日00時26分発行